

住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり 駅周辺地区勉強会ニュース

第7号 平成25年11月



駅周辺の“動線”を考えるため、 三軒茶屋と亀有を視察しました！



【三軒茶屋】駅前の再開発ビルと周辺商業地

第1回事例視察（平成25年10月10日）は、まちづくり委員会、駅周辺地区勉強会の合同で行いました。22人の皆さんが参加して、駅周辺の人の流れ＝“動線”をテーマに、三軒茶屋と亀有を視察しました。

◆三軒茶屋駅周辺

駅前の再開発ビルの展望室へ上った後、周辺の商業地を視察しました。駅周辺から住宅地へ向かう人の流れが、商店街の賑わいを生み出していました。

◆亀有駅周辺・アリオ亀有

亀有駅前からアリオ亀有まで歩き、駅前から大型商業施設へ向かう人の流れを実感しました。アリオ亀有では、開発の経緯やコンセプトについて、担当者から説明を受けました。



【三軒茶屋】“動線”にある商店街



【亀有】駅前からアリオへ向かう



【亀有】アリオの担当者から説明

発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

（担当：石田、田中）

電話 03-5654-8344（直通） 03-3695-1111（内線3412）

ファクス 03-3697-1660 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

「駅周辺地区のまちの将来像」の検討を スタートしました！ ～平成25年度 第1回勉強会～

第1回勉強会（平成25年9月5日）では、初めに昨年度の検討経緯と、平成25・26年度の勉強会の流れについて、確認しました。今年度は「駅前と新たな拠点を結ぶ人の流れ（回遊性）を生み出し、まち全体が元気になる駅周辺地区の将来像を考えよう！」という方向性で進めます。

次に、商業空間に回遊性を生み出すしかけとしての“動線”を勉強しました。コンビニ店内の商品レイアウトや、ショッピングセンター内の核店舗の間をつなぐ通路・専門店の配置が実はパターン化されており、その考え方で実際の店舗が設計されていることがわかりました。その後、机を寄せて地図を広げ、ワークショップを行いました。



事務局による商業空間における“動線”の説明



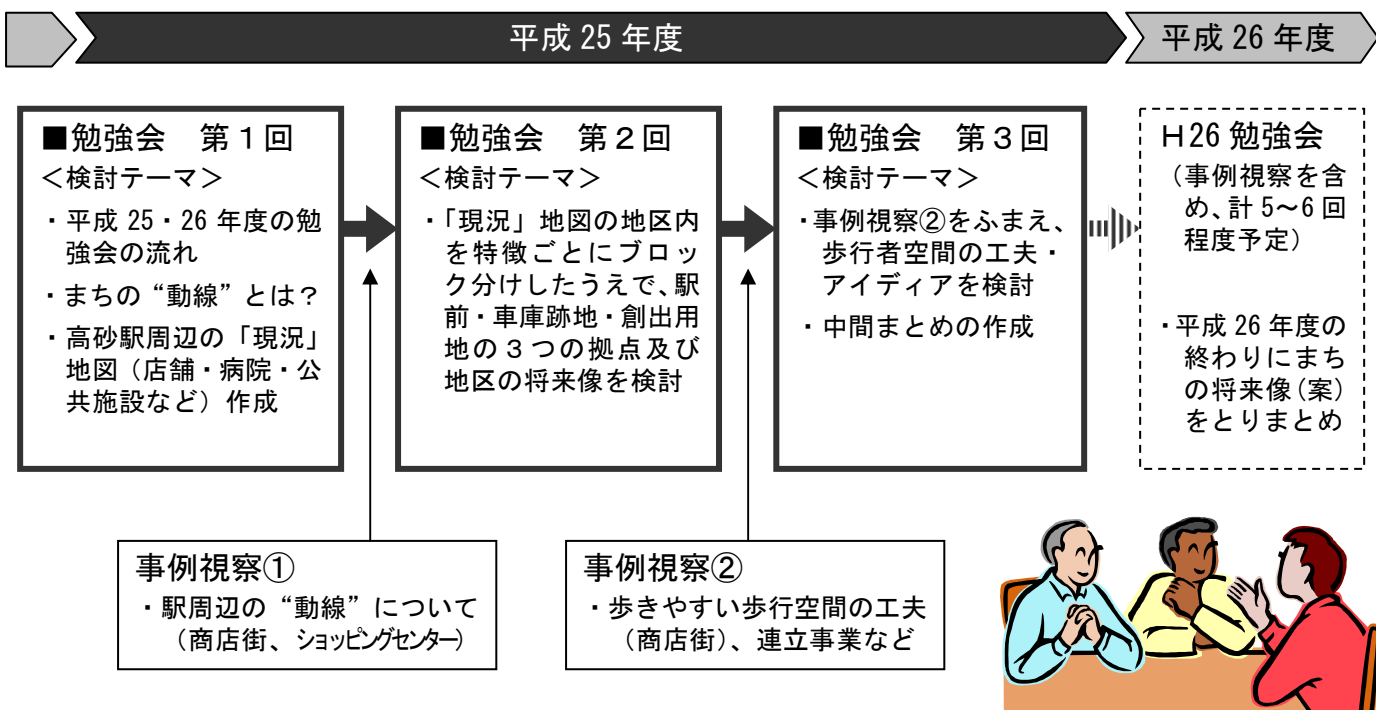
地図を囲んでのワークショップ

◆平成25・26年度の勉強会の流れ

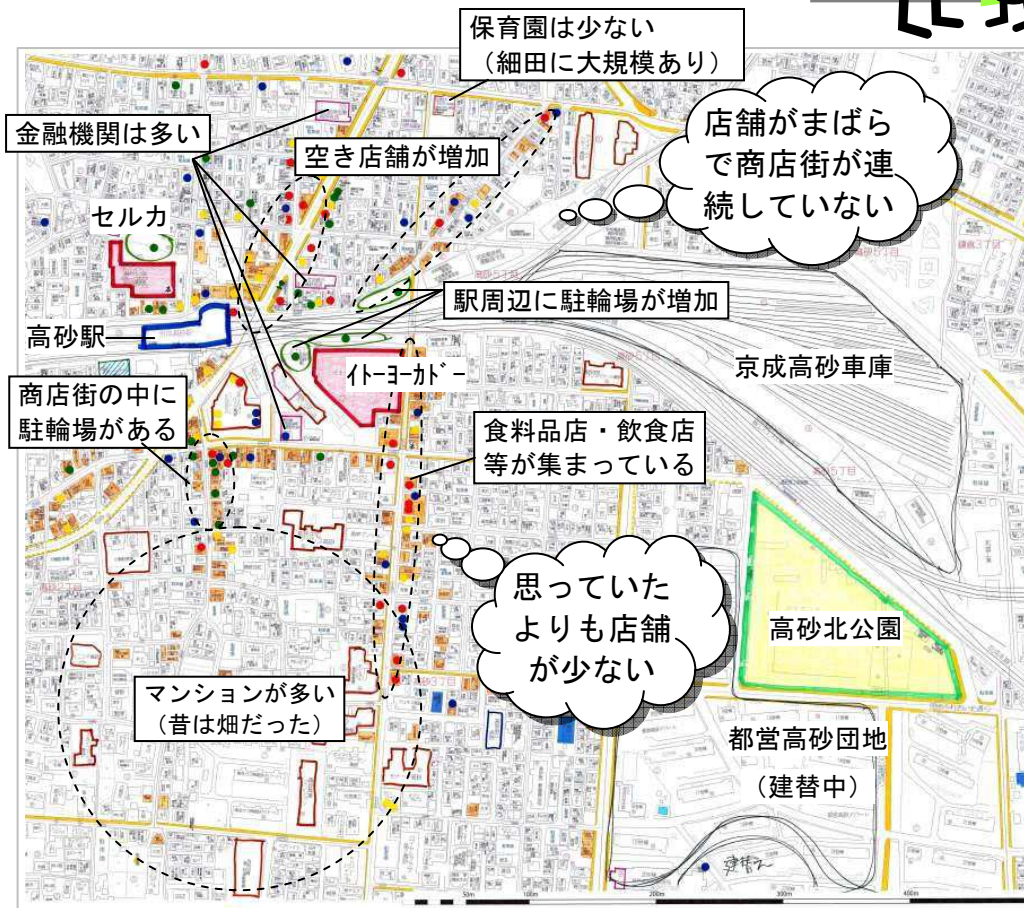
今後の勉強会では、平成25・26年度の2カ年をかけて「駅周辺地区のまちの将来像」を検討していきます。平成25年度は、勉強会3回・事例視察2回の予定です。

＜駅周辺地区 勉強会スケジュール（案）＞

※各回の検討テーマ等は、今後変更する可能性もあります



◆ワークショップの成果



ワークショップでは、現在、駅周辺に人が集まるどのような施設があるのかを明確にするため、机に大きな地図を広げ、駅周辺の店舗・病院・公共施設・駐輪場・保育園・マンションなどにシールやペンで印をつけていきました。（左図）メンバーからは、「思っていたよりも店舗が少ない」とか「店舗がまばらで、商店街が連続していない」といった感想が上がりました。

今年も「高砂音楽祭2013」で パネル展示とアンケートを実施しました



平成25年10月27日に、高砂音楽祭2013が開催されました。前日まで天候が心配されましたが、秋晴れの青空のもと、高砂北公園に多くの人々が訪れ、ステージ上の音楽やフリーマーケット・飲食などを楽しみました。開発協議会では、今年も会場テントを使って、まちづくり活動のパネル展示とアンケートを実施し、来場者に高砂地区のまちづくりをPRしました。



会場テント前でのアンケート



青木区長にも回答をいただきました

★今後のスケジュール

- 平成 25 年 11 月 27 日 駅周辺地区勉強会 第 2 回
- 平成 26 年 1 月頃 まちづくり委員会合同 事例視察②
- 平成 26 年 2 月頃 駅周辺地区勉強会 第 3 回
- 平成 26 年 5 月頃 開発協議会総会 平成 25 年度の検討結果報告

キリトリ線

駅周辺地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第7号を讀んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前：
お電話番号：
FAX：



高砂地区開発協議会事務局
葛飾区役所 高砂地域整備担当
FAX : 03-3697-1660